

製品名: TPX2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03238**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 86 kDa; Observed MW: 100 kDa

抗原情報

遺伝子名	TPX2
別名	DIL2; p100; DIL-2; HCTP4; FLS353; HCA519; REPP86; C20orf1; C20orf2; GD:C20orf1
遺伝子 ID	22974
SwissProt ID	Q9ULW0
免疫原	ヒト TPX2 の合成ペプチド

背景

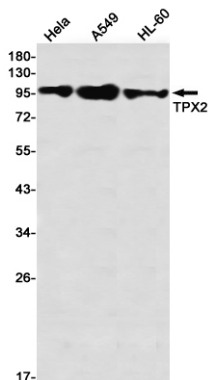
紡錘体形成因子。有糸分裂紡錘体の正常な形成に必要。アポトーシス中の微小管の正常な形成に必要。クロマチンおよび / または動

原体依存性の微小管核形成に必要。AURKA の紡錘体微小管への局在を媒介する。AURKA の「Thr-288」における自己リン酸化を促進することで AURKA を活性化し、この残基の脱リン酸化を防ぐ。

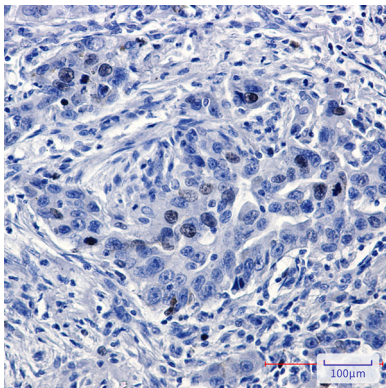
研究分野

細胞生物学

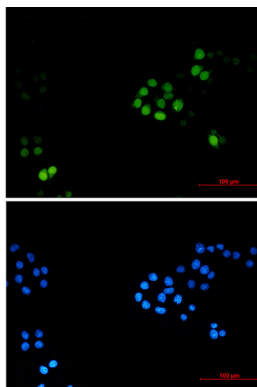
画像データ



TPX2 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60 溶解物中の TPX2 のウエスタン ブロット分析



TPX2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



TPX2 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の TPX2 (緑) の免疫細胞化学分析